

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【公開番号】特開2011-37355(P2011-37355A)

【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2009-185674(P2009-185674)

【国際特許分類】

B 6 2 K	19/38	(2006.01)
B 6 2 K	25/20	(2006.01)
B 6 2 J	11/00	(2006.01)
B 6 2 K	11/00	(2006.01)
B 6 0 T	8/34	(2006.01)
B 6 2 L	3/00	(2006.01)
B 6 2 L	3/08	(2006.01)

【F I】

B 6 2 K	19/38	
B 6 2 K	25/20	
B 6 2 J	11/00	G
B 6 2 K	11/00	Z
B 6 0 T	8/34	
B 6 2 L	3/00	A
B 6 2 L	3/08	

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月8日(2012.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

図2に示すように、ブレーキ装置80は、バー手元に取付けられた操作部材としてのブレーキレバー81と、このブレーキレバー81の操作によってブレーキ液圧を発生させるレバー側マスタシリンダ82と、前述のブレーキペダル57と、このブレーキペダル57の操作によりブレーキ液圧を発生させるマスタシリンダとしてのペダル側マスタシリンダ84と、これらのレバー側マスタシリンダ82、ペダル側マスタシリンダ84にそれぞれ入力用配管としての配管86, 87で接続されたモジュレータ42と、このモジュレータ42に出力用配管としての配管91~96で接続された制動装置としての前輪ディスクブレーキ101, 101と、モジュレータ42に配管103~105で接続された後輪ディスクブレーキ43と、出力用配管としての配管103の途中にブレーキ液圧を調整するために設けられた連動ブレーキ制御ユニットを構成するブレッシャコントロールバルブ106(以下では単に「PCV106」と記す。)と、一方の前輪ディスクブレーキ101及びモジュレータ42のそれぞれを接続する出力用配管としての配管107の途中に、ブレーキペダル57を操作したときに後輪ディスクブレーキ43を作動させるブレーキ液の液圧を前輪ディスクブレーキ101へも分配するとともに前輪ディスクブレーキ101側へのブレーキ液圧の供給を後輪ディスクブレーキ43側より遅らせるために設けられたディレイバルブ(DV)108と、前輪111の回転速度(即ち、車輪速度である。)を検出する前輪車輪速センサ113と、後輪37の回転速度を検出する後輪車輪速センサ1

16と、上記の前輪車輪速センサ113、後輪車輪速センサ116からの信号に基づいてモジュレータ42を制御する制御装置118とからなる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

支持ブラケット151は、平面視コ字形状の上部コ字部材171と、この上部コ字部材171の前部に取付けられた前側締結部172と、上部コ字部材171の左端部に取付けられた左側締結部173と、上部コ字部材171の右端部に取付けられた右側締結部174と、この右側締結部174の中間部に前方へ延びるように取付けられた前方延出部材176と、右側締結部174における前方延出部材176の上方に取付けられた小ブラケット片177とからなる。